



ポイントを使って飲食できる「しげんカフェ」の店内

ソーシャル「しげんカフェ」開店

東京 精神障害者も就労

不要になつた衣類などを持ち込むとポイントが貯まつたポイントでコーヒーなどが飲める——。「しげん(資源)カフェ」と呼ばれる、そんな仕組みを採り入れた喫茶店が16日、都内にオープンした。精神障害のある人の働く場として、地域の人々が集まりやすい居場所をつくる。資源が循環する社会を目指す。

開店したのは「しげんカフェわくわく」。障害福祉制度による就労支援事業所ではない。運営するのはNPO法人わくわくかん(斎藤縣三理事長)。就労困難者を積極的に雇用する社会的企業「ソーシャルファーム

ム」として、東京都の条例に基づく予備認証を受けた。店舗はJR浮間舟渡駅(北区)から徒歩8分の高架下にある。半分はリサイクルショップ、残り半分は客席数24の喫茶店。古着や食器などを1回持ち込むとスタンプカードに判が一つ押される。二つで100円分の買い物や飲食に充てられる。8人いるスタッフのうち3人は精神障害のある人で、本人の希望などに応じてリサイクル品の仕分けや値付け、喫茶の仕事を取り組む。「いろんな仕事を用意できるのがこの店の強み。目標とする売り上げは1日5万円(6万円)」(スタッフの

若畠省一さん)という。しげんカフェの仕組みは、愛知県津島市で2013年にスタート。市の環境局での勤務経験のある浅井直樹さん(69)が考案した。

浅井さんが代表を務め、ソーシャルファームは社会課題を解決する

一般社団法人「しげんカフェシステムズ」によると、この仕組みを採り入れた店舗は現在、全国に7カ所しかないという。

手法として都が条例を制定。今年3月に3社を認証、わくわくかんを含め25社を予備認証した。認証されると、5年間で最大8000万円の支援を受けられると。(福田敏克)